

# 福まち通信

第 7 号

発行 平成29年10月20日

発行責任者 センター長

西岡会館 4条5丁目8-21

電話・FAX 854-0537

「ななかまど」が鮮やかに色付き、本格的な秋の到来を感じる季節となりました。

朝晩、一段と冷え込んでおります。体調管理に十分気を付けてください。

毎月3日は、「見守りの日」です。ひとり暮らしの方のサポートをいつも心掛けて行きましょう。

## 10月の行事

- 3日（火）札幌市「見守りの日」
- 11日（水）第6回代表推進員会議  
イオンの日
- 18日（水）西岡げんきランド
- 31日（火）第7回役員会議

## 11月の行事予定

- 3日（金）札幌市「見守りの日」
- 11日（土）イオンの日
- 14日（火）第7回代表推進員会議
- 21日（火）第2回安心安全研修会
- 29日（水）西岡げんきランド
- 30日（木）第8回役員会議

## ★平成29年度『ふれ愛交流会』が無事終了！

秋の恒例行事『ふれ愛交流会』が9月24日(日)11:00~13:30 西岡福住地区センターで、290名と過去最高の参加者(高齢者150名、関係機関14名、町内会・自治会長29名、お手伝いの推進員51名、出演協力46名)で開催されました。

◇当日の交流会の模様などは、別途、同時発行の“センターだより”第2号で詳しくお知らせしますので、それをご覧ください。

10月11日(火)第6回代表推進員会議の際、第4回実行委員会議を合わせて開催し、交流会の反省会をお手伝いの推進員、関係機関の方も含めて行いました。

その中で、弁当の時間の遅れや、折角のちびっこ体操が会場の後方では見えなかったこと、催し物のこと、準備運営面など各班に分かれて、色々と反省点を出し合い、話し合いました。

一方、交流会の後、参加した高齢者からの「良かったよ、美味しかったよ」などの声には関係者として大いに励まされるところです。引き続き推進員の皆さんと相談し、次回に向けて、これらの反省点を生かして参りたいと思います。

◇高齢者を囲むこの交流会は、福まち推進員を中心に関係機関や町内会長・自治会長のご理解、ご協力の中で、毎年継続開催がでております。今年も無事終了することができました。

推進員はじめ、関係機関、町内会長の皆様に紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

## ★福まち防災訓練～安否確認の結果報告～

福まちでは、西岡地区町内会連合会の自主防災訓練(9月30日(日)、西岡小学校で実施)の一環として、ひとり暮らし高齢者(70歳以上)の安否確認を、翌週10月2日(月)に福まち推進員を通じて行いました。

その結果、西岡地区35町内会619名の対象高齢者の中、前日までの確認を含めて607名の安否確認(98.1%)を完了しましたので報告いたします。

推進員の方々のご協力により、円滑な実施ができましたことを心から感謝申し上げます。

## ☆福まち発！地域福祉市民活動フォーラム(札幌市・札幌市社会福祉協議会主催)の結果報告

### ～西岡地区福まち活動の状況について～

本フォーラムは、9月13日(水)わくわくホリデーホール(札幌市民ホール)で「住民参加の広がりによる地域共生社会の実現に向けて」をテーマに、会場一杯に935名が参加しました。

先月の「福まち通信」第9号でその概要のみ報告しました。

その際、シンポジウムで西岡地区を代表し、大友副センター長が、福まち活動について、スクリーンを使い、画像を活用し、わかりやすく発表、報告しましたが、今月は、その内容の要点を以下の通り、お知らせします。改めて皆さんとともに西岡の福まち活動を確かめ合い、今後、充実した取り組みを行って参りたいと思います。

### ◇西岡地区の福まち活動の特徴、ポイント

#### 1. 地域と密着した福まち活動

福まち活動への理解が、年々各町内会に巾広く浸透している。

町内会長の推薦で活動を担っている福まち推進員が、それぞれ地域のやり方でひとり暮らしの高齢者の見守り・サポート活動をはじめ、茶話会活動など、町内会の後押しを得て、しっかりと推進実施できている。

#### 2. 関係機関との濃密な連携

福まちの定例の会議、研修活動、ふれ愛交流会開催などに関係機関(豊平区保健福祉課・健康子ども課、地域包括支援センター、豊平区社協、介護予防センター西岡、民児協など)が推進員とともに常に参画し、情報の共有、連携を実現している。

#### 3. 繙続した話し合いの積み重ね。

福まち推進員(西岡地区全体で147名)の代表が、毎月1回定例的に集まり、活動状況の確認や具体的な対応方向などを話し合い、日頃の見守り・サポート活動などを推進している。

#### 4. 推進員、高齢者への情報の提供、広報活動の実施

○福まち通信 毎月発行。福まち推進員を中心に町内会長、関係機関に配布

○センターだより 年間3回発行。ひとり暮らし高齢者を中心に推進員、町内会長、関係機関に、日常生活に役立つ情報提供や活動状況などを知らせている。

また、西岡地区町連(年間3回発行)の広報紙「水源」にも、福まちの活動状況の記事を、定期的に載せ、地区全体に向けて広報活動を実施している。

#### 5. 福まち事務室の活用

にしおか会館内に福まち事務室が設けられており、毎日、推進員や関係機関、町内会長の方が気軽に立ち寄り、お茶を飲みながら地域の色々な相談事や情報交換、発信の拠点として役立っている。

以上の様なポイントの中で、高齢者の見守り・サポート活動、茶話会活動や子育て支援(西岡げんきランド)など推進員を中心に町内会や関係機関と一体となり、皆で支え合いながら、連携した“チーム西岡”という形で活動にあたっている。

フォーラム当日、関係者がたくさん駆けつけ、会場内に横断幕を掲げて気持ちを一つに発表を応援しました。まさに“チーム西岡”を、強く印象付けたハプニングでした。

最後に、より安心安全なまちづくりに向けて、重要な課題の認知症問題や老老家族問題の対応などにも、福まちとして情報提供など頑張って行きますと、発表を終えました。

フォーラムのコーデネート役の先生から、地域の関係機関や町内会などとのしっかりと連携が、大いに評価され、西岡地区の一人として心強く感じた一日でした。